

国民健康保険から見た市民の疾病の様子

大崎市国保の疾病別の件数と医療費

平成27年5月診療の医療統計から見た疾病の状況は、件数・費用額ともに高血圧・心臓疾患・脳血管疾患などの「循環器系疾患」の割合が高くなっています(図1参照)。循環器系疾患の中でも、「高血圧性疾患」は、件数・費用額ともに高く、次いで件数では「脳梗塞」が、費用額では「虚血性心疾患」が高くなっています(図2参照)。

循環器系疾患に次ぐ費用額では、良性腫瘍などの良性新生物やがんなどの悪性新生物の「新生物疾患」の割合が高くなっています(図3参照)。新生物疾患の中でも、件数・費用額で「乳房の悪性新生物」がともに高く、次いで件数では「胃の悪性新生物」が、費用額では「結腸がん・大腸がん」などの「結腸の悪性新生物」が高くなっています(図3参照)。

これらの病気は、食生活や運動、休養、喫煙、飲酒などの日常生活を見直すことで、予防できることが多い病気です。

定期的に特定健康診査や各種がん検診を受け、疾病の早期発見・早期治療に努めましょう。

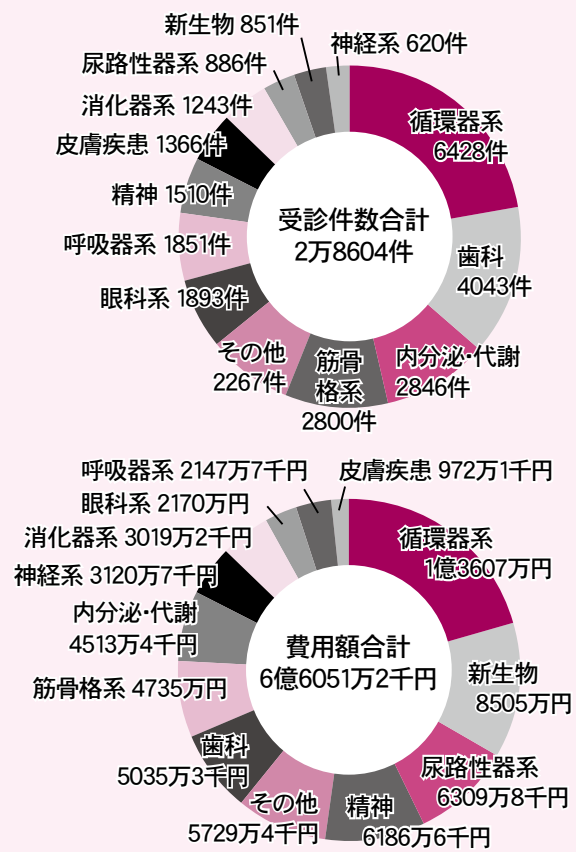
安心して医療を受けるためには、いずれかの健康保険に必ず加入しなければなりません。勤務先の保険に加入できない人などの医療費を保障する制度が国民健康保険(国保)です。

国保は、加入している被保険者からの保険料と国や県の負担金などを財源として市が運営しています。

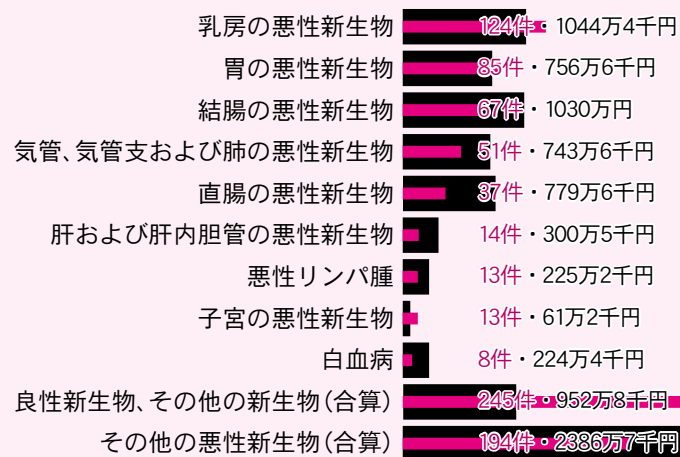
生活習慣病にかかる前に、特定健康診査などで異常を発見し、自分の健康を守り、医療費の増加を防ぎましょう。

☎ 保険給付課国民健康保険担当 ☎23-6051

【図1】疾病分類別「受診件数」「費用額」



【図3】新生物疾病別「件数」「費用額」



【凡例】 ■ 件数 ■ 費用額

【図2】循環器系疾病別「件数」「費用額」

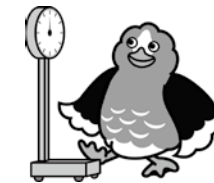


めざせ脱メタボ！市民健診を受けよう

特定健康診査・がん検診のススメ

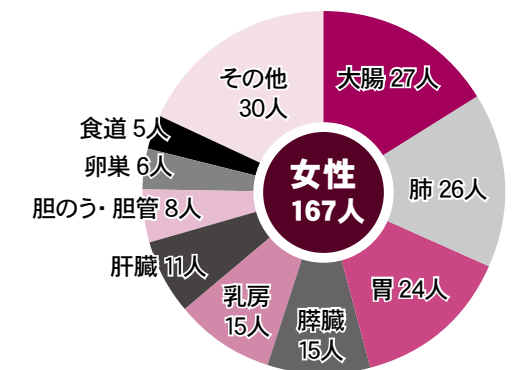
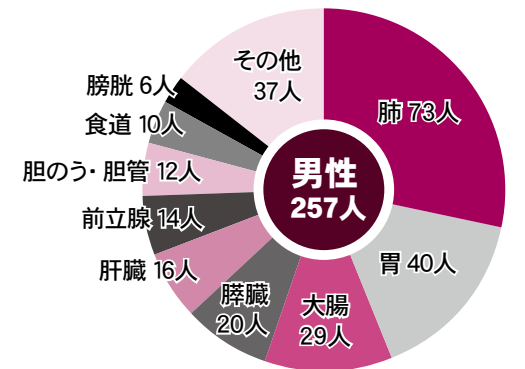
生活習慣病を早期に発見し予防するためには、定期的に健康診断を受け、日ごろの生活習慣を見直すことが大切です。あなた自身、大切な家族や仲間のために、毎年きちんと健康診断を受けましょう。

☎ 健康推進課成人保健担当 ☎ 23-5311



大崎市における部位別がんによる死亡数

【出典：平成24年人口動態統計年報】



特定健診を受けよう

平成24年に市民が亡くなった原因の約6割は、心疾患や脳血管疾患、がんなど生活習慣病によるものでした。生活習慣病を発症する要因には、食べ過ぎ、飲み過ぎ、運動不足、喫煙、ストレスなどがあり、これらを放置すると、内臓脂肪が増え、血圧上昇や血液中の糖・脂質が増えるなど、生

活習慣病になる要因を併せ持った状態である「メタボリックシンドローム」になります。特定健康診査は、このメタボリックシンドロームに着目し、生活習慣病の発症や重症化を予防することが目的です。加入している医療保険者が実施し、40歳から74歳までの人が対象です。市では、大崎市国民健康保険加入者に対して無料で実施します。対象者に

は、5月から6月にかけて受診票を送付します。特定健康診査の結果から、メタボリックシンドロームの危険がある人などを対象に、「特定保健指導」や「健診事後相談会」なども開催します。対象となった人には、健診結果と併せて案内を送付しますので、積極的に参加してください。

がん検診を受けよう

大崎市では平成24年に424人が、「がん」で亡くなりましたが、医療技術の進化した現在、がんは初期の段階で治療すれば、死亡の可能性を軽減できる病気です。早期発見、早期治療のため、定期的ながん検診を受けましょう。

肺がん検診を受けよう
大崎市民の約3人に1人が「がん」で亡くなり、そのうち肺がんが亡くなる人の数は、男性では最も多く、女性は2番目に多い状況となっています。肺がんの原因の一つが、喫煙と受動喫煙です。喫煙者が吸い込む「主流煙」、周囲の人が吸い込む「副流煙」のいずれにも発がん物質が多く含まれており、非喫煙者の肺がんは女性に多く見られます。肺には多くの血液が流れ込むため、がん細胞は、その流れのつて全身に転移しやすく、治りにくいがんの一つです。がんを予防すること、がんになっても早く見つけ、早く治療することが重要です。

平成28年度「おおさき市民健診」申し込みが始まります

申込期限 2月16日(火)

平成28年度「おおさき市民健診」の申込書を2月上旬までに世帯ごとに郵送します。受診しない理由の把握にも努めていますので、受診しない場合も必ず提出してください。「特定健康診査」は、大崎市国民健康保険に加入する対象年齢の人に、市から受診票を送付しますが、がん検診など、それ以外の各種検診は申し込みが必要です。

